職務経歴書

●年●月●日現在

 氏名：○○　○○

■経歴要約

※学生時代の専門分野、研究内容について触れた後、これまでの企業での職務内容（対象製品、経験年数）やどんなことができるのか、簡単に記載して下さい。ボリュームとしては5行程度で問題ありません。

学生時では大学では機械工学を専攻し、熱交換器に関する研究に従事しました。現職の○○株式会社では主に半導体製造装置に使用される真空ポンプに関する保守メンテナンス業務を中心に約○年従事しています。技術だけではなく、お客様ともしっかりコミュニケーションを取り、良好な信頼関係を構築できるエンジニアを目指し、業務に励んできました。

■活かせる経験・スキル・知識

【習得技術・知識】※企業での経験・知識の他、ツール類等については学生時代のものも含めて記載頂いて構いません。

・顧客との信頼関係構築力、クレーム対応能力

・客先でのメンテナンス、修理に関するスキル

・EV・2次電池やエネルギー分野/熱、流体、真空に関する知識※担当製品や業界の要素技術をご記入ください。

・C、C##の知識、プログラミングスキル

・真空機器に関する知見

・機械・電気図面に関する基礎知識

・営業や提案時のコミュニケーション能力

【使用可能装置/ツール】

SEM、TEM、FT-IR、NMR　GC-MS、HPLC、XRD、GPC、EPMA、DSC　・・・

■職務経歴　※経験企業毎に作成して下さい。2社以上経験されている場合は、直近の企業から記載。

●●●●年●月～現在　○○株式会社

事業内容：

資本金：　　　　　　　　　従業員数：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 期間 | 所属・業務内容 | 使用ツール技術知識 | メンバー／役割 |
| 0000年0月～0000年0月 | 〇〇〇サービス部門　〇〇〇営業所配属【取扱製品】○○【担当業務】・導入済製品の修理及びメンテナンス・顧客先での設置・設定・倉庫でのソフトウェア設定とテスト、顧客先での設定・動作テスト・自社内修理工場での分解・組立、修理・客先での定期点検、故障時修理対応、提案営業　（客先：各企業研究所、大学研究機関、半導体製造ラインなど）・見積書、作業報告書、故障状態調査、修理、取扱説明、修理報告書の作成など各種ドキュメント作成作成　・製品、修理部材の発注・管理・修理作業報告書データベース管理・後輩社員への技術指導※↑業務プロセスを１つ１つ箇条書きでご記入ください。【実績】・月間平均〇件の修理対応・月間平均〇件の納品・設定対応 | IRSEM色度計ウェット塗工技術グラビアコーター | 主担当／4名 |
| 0000年0月～現在 | 〇〇〇部門に配属〇ヶ月間のOJT実施後、業務を担当**【取扱製品】**○○**【担当業務】**・顧客へのヒアリング・装置の具体的な仕様決定、設計書の作成・顧客先への搬入・設置、動作プログラムの設定（C言語でのコーディング）・動作テスト・運用確認（動作テストを経て納品後、約2週間顧客先に常駐しての運用確認を実施。不具合があれば調整し、最終確認）・報告書、運用マニュアルなど各種ドキュメント作成※↑業務プロセスを１つ１つ箇条書きでご記入ください。**【実績】**・月間平均〇〇件の納品・設定対応・顧客先でのデータを基に、開発部門へフィードバック。仕様変更へ寄与 | 引張試験機グラビアコーターホモジナイザーロールミル | リーダー／4名 |

■受講研修、学会発表など

※学会発表や特許出願、品質管理研修などの各種研修受講経験があれば記載して下さい。

＜学会発表・論文＞

　　2008年6月　「○○○の立体選択的合成」日本化学会第○○回　秋季年会

＜受講研修＞

　　2008年8月　特許研修基礎

■資格・表彰など　※TOEICなども受験していらっしゃる場合は記載ください。英語力のアピールとなります。

　2010年5月　○○分野　グッドデザイン賞　受賞

　2011年7月　▽△により社長賞受賞

　2012年7月　TOEICスコア620点

■学士、修士研究概略←　転職先で活かせる研究内容、また20代・第二新卒の方は記載ください

※テーマが同一の場合はまとめて、そうでない場合は分けてまとめてください。

●●●●大学大学院●●●研究科　●●●研究室　（YYYY年MM月～YYYY年MM月）

＜研究テーマ＞

　●●●部位をコアに持つ△△の不斉合成とその評価

＜研究概要＞

　※研究の目的、実際に行った検討、実験・評価手法などを端的にご記載ください。

＜研究成果＞

■自己ＰＲ

※業務経験または研究で身に付けたビジネススキル、業務の進め方、心がけ、周囲とのやりとりにおけることや

パーソナリティなどを意識してまとめてみてください（職種上、顧客との信頼関係構築力をPRできると〇です）

例１　学生時では、●●を専門とし、●●・●●の研究・実習を行ってきたため、●●の知識があります。●●の際に●●や●●●●等に関する知識が役に立つと思われます。

現職において製品開発を進める際には●●の点を工夫し、●●を心がけたことから、●●のような成果につなげることができました。

今後は●●で身に付けた、コミュニケーションスキルを生かしながら、さまざまな分野に対して積極的に取り組んでいきたいと思います。

例2　顧客担当者に限らず周りの社員の方々とも丁寧で明るさのあるコミュニケーションを欠かしません。また、装置のプロとして信頼を得るため、質問へはマニュアル等にはない、経験からの情報をプラスαとして加えることを意識して、常に質問の内容以上の回答であるよう心がけています。

以上